

母と暮せば (2015)

メディア 映画

ジャンル ドラマ 戦争 ファンタジー

製作国 日本

色彩 Color

時間 130分

初公開日 2015/12/12

公開情報 松竹

【キャッチコピー】

もう息子には会えないと、思っていました。

【解説】

「おとうと」「小さいうち」の山田洋次監督が、吉永小百合と二宮和也を主演に迎えて贈るヒューマン・ファンタジー・ドラマ。戦後の広島を舞台にした父と娘の物語『父と暮せば』を手がけた井上ひさしが生前に構想していた長崎が舞台の物語というアイデアを山田監督が受け継ぎ、原爆で死んだ息子と生き残った母が織りなす切なくも感動的な絆と希望の物語を綴る。共演は黒木華、浅野忠信、加藤健一。

1948年8月9日、長崎。一人で慎ましく暮らしている助産婦の伸子。夫と長男は戦死し、次男の浩二も3年前の原爆で亡くなった。浩二の恋人だった町子はそんな伸子のことをずっと気に向け、今でも足繁く通ってくれている。そんなある日、伸子の前に浩二が幽霊となってひょっこり姿を現わす。以来、浩二はたびたび現われては、伸子と思い出話に花を咲かせるようになる。笑いの絶えない楽しい2人の会話だったが、最後は決まって町子の幸せへと話が及んでいくのだったが…。

【クレジット】

監督	山田洋次	
企画	井上麻矢	
プロデューサー	榎望	
脚本	山田洋次 平松恵美子	
撮影	近森真史	
美術	出川三男	
編集	石井巖	
音楽	坂本龍一	Ryuichi Sakamoto
照明	渡邊孝一	
録音	岸田和美	
出演	吉永小百合	福原伸子
	二宮和也	Kazunari Ninomiya 福原浩二
	黒木華	佐多町子
	浅野忠信	Tadanobu Asano 黒田正圀
	加藤健一	上海のおじさん
	広岡由里子	富江
	本田望結	風見民子
	小林稔侍	復員局の職員
	辻萬長	年配の男

